

令和7年11月13日(木)

時間 13:30～15:30

会場 新庄市民プラザ
3階 小ホール

入場無料

表彰式 13:30～14:00



【技術及び経営改善部門】

小野 貴之 氏（最上町）

トマトを主体に野菜専作経営を確立。土壌分析に基づいた施肥管理、着果管理、完熟後の収穫等を徹底し、こだわりのトマト栽培を実践している。また、「とまとやよずべえ」ブランドで、東北から関東、九州地域まで幅広い販路を開拓し、直接販売・6次産業化に取り組んでいる。

最上全域の組織である「若手トマト研究会」の1人として、新規栽培者の技術指導を行う等、地域農業のリーダーとして活躍している。



【特別部門】

赤間 初男 氏（新庄市）

JA新庄昭和花木部会役員、最上広域花き振興協議会長、山形県トルコぎきょう研究会長として、最上地域及び県のトルコぎきょうの産地化・ブランド化に貢献した。育苗方法や土づくり、肥培・給水管理等の栽培技術を改善・普及させるとともに、現在は主流となっている縦箱出荷にいち早く取り組み、産地の市場評価を高めた。また、地元高校、東北専門職大学附属農林大学校等のインターンシップを積極的に受け入れ、地域農業の担い手育成に貢献した。

記念講演会 14:10～15:30

演題 「若者の農業挑戦をアシストする」

～3K農業から3Y農業へ、人生は敗者復活戦～

講師 鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」

校長 百瀬 清 昭 氏

プロフィール

鶴岡市(旧羽黒町)出身。山形県職員として畜産分野の研究からスタートし、生産現場の普及指導、行政、農業教育を担当。特に、山形県立農業大学校（現東北農林専門職大学附属農林大学校）では教務学生担当として、また、平成22年度から平成24年度までの3年間は校長として農業経営者の育成に尽力した。

退職後は、山形県農業会議「農の雇用事業」の現地指導、（公財）やまがた農業支援センターの農産物認証審査を担当。その後、鶴岡市の初代新規就農アドバイザーとして新規就農者の確保・育成に貢献し、令和3年度から鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」の校長に就任した。

【主催】最上地域農業・畜産振興協議会、最上総合支庁産業経済部

【お問合せ】最上総合支庁農業技術普及課

経営企画担当 TEL:0233-29-1329

令和7年度
最上農業賞表彰式・記念講演会